

## 参加施設の募集とキックオフミーティング

- 仮説を検証できるだけの必要症例数を集積するためには多くの施設の参加が必要になります。
  - 100 症例を 2 年間で集積したい場合は適格条件に合致する症例が 1 施設 1 例/年であれば最低でも 50 施設の参加が必要になり 1 施設 2 例であれば 25 施設、3 例であれば 33 施設、4 例であれば 25 施設の参加が必要になります。
  - 研究に参加をしても実際には登録が行われない施設も一定程度ありますので、一般的には 3 割程度多くの施設に参加を呼びかけた方が良いでしょう。施設数が多すぎると事務手続きなど運営側の負担が大きくなります。
    - ☆ JACCRO では臨床研究の裾野を広げるために可能な限り多くの施設に参加を呼びかけています。
  - 参加の依頼は過去の実績、企画委員からの推薦を参考にして研究代表者名で参加を依頼します。
  - 参加施設が不足する場合は他研究グループに声掛けをする、ホームページでの参加要請、既に参加表明を行なっている施設への他施設への参加勧誘などの依頼を行います。
- キックオフミーティングの開催
  - キックオフミーティングでは研究計画の説明、同意取得の方法、休薬・減量の解説、登録方法、インセンティブの有無などの情報を共有します。質疑応答を行い疑問点を明らかにして行きます。
  - 質疑応答では少人数の企画段階では明らかにされなかった問題点が指摘されることもあります。
  - キックオフミーティング終了後に正式な参加申込書を渡します。
  - 最近ではウェブによる開催が多くなり時間的・経済的負担が軽減されています。